

## 敦賀発電所2号機の定期検査の状況について (高圧タービン主蒸気入口配管付け根部付近の蒸気漏れの調査状況)

敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉：定格電気出力116万キロワット）は、第16回定期検査中で調整運転中の平成20年9月16日に、電気出力を約95%としてタービン弁の定期試験（1回/月）を実施後、タービン弁の現場状況を確認していたところ、11時45分頃に高圧タービン蒸気入口配管付近を覆う保温材から、僅かに蒸気が出ていることを確認し、当該箇所点検を行うため、同日12時30分から出力降下を開始し、23時39分に原子炉を停止しました。なお、本事象による周辺環境への放射能の影響はありませんでした。  
(平成20年9月16日発表済)

### 1. 調査状況

- ・高圧タービン車室上部にある主蒸気入口配管付近の保温材を取り外し、目視点検したところ、蒸気の流れにより静翼が回転するのを防ぐためタービン車室上部に設置されているピン（回り止めピン：1箇所）の頭部やその周辺の保温材で、蒸気漏れによる変色が確認されました。
- ・当該ピンのカバーを取り外して詳細に点検した結果、ピンを高圧タービン車室に取り付けているスミ肉溶接部に2箇所の傷（長さ約55mmと60mm）が認められ、当該部からタービン車室内（真空状態）に向かって空気の吸い込みが確認されたことから貫通しているものと判断されました。
- ・本件は、原子炉等規制法に基づく報告対象に該当するものと判断し、本日、原子力安全・保安院へ報告いたしました。

### 2. 今後の予定

- ・今後、当該部を切り取り、試験研究機関に搬出し詳細な調査を実施します。
- ・また、引き続き、保温材の取り外し作業を行い、高圧タービンの他の部位に蒸気の漏れ跡がないことを確認します。

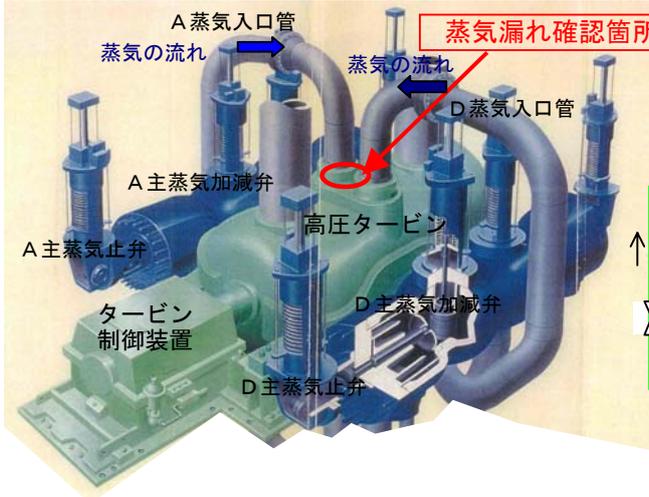
### 3. 添付資料

高圧タービン主蒸気入口配管付け根部付近の蒸気漏れの調査状況図

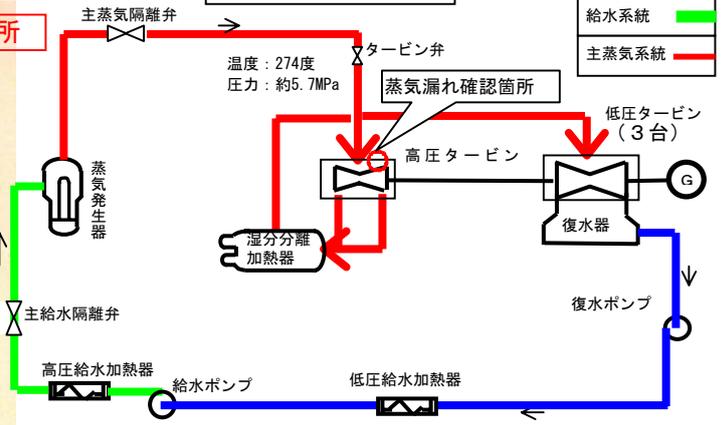
以上

# 高圧タービン主蒸気入口配管付け根部付近の蒸気漏れの調査状況図

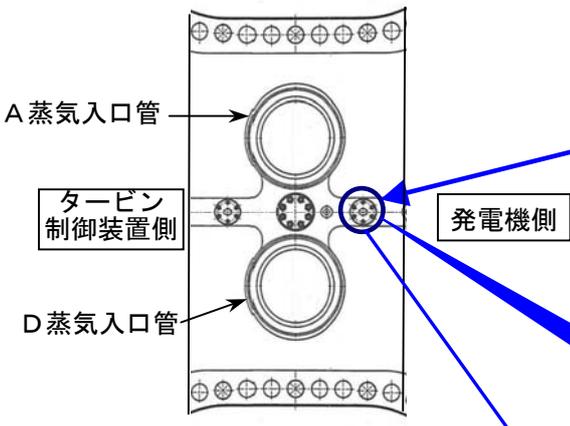
高圧タービン鳥瞰図



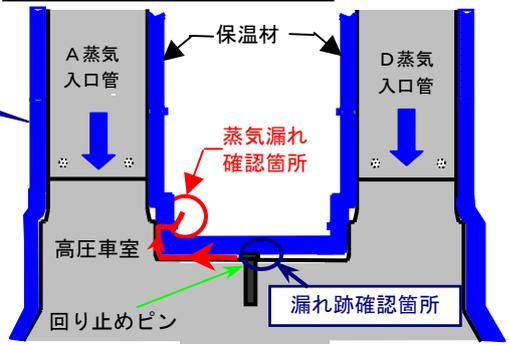
系統別概略図



高圧タービン車室上部平面図 (漏れ近傍)



蒸気漏れ箇所概念図



(タービン制御装置側より見る)

変色箇所



回り止めピン

